



外部秘にてお願いします

はじめに

- ・身だしなみ、コミュニケーションなどは、今一度、お見合必勝マニュアルを再確認して読み込みましょう。
- ・交際期間の目安、交際する異性の絞り方は「婚活スタートダッシュマニュアル」を確認しましょう

・デートが決まったら、決まった都度、システムに記入しましょう。

・デート後はその日のうちに、振り返りをシステムに記入しましょう。

- ・デートが決まったら

システム→活動情報(申し受け・申し込み)→異性ごとの交際管理から
「次回デート日時」「場所などの予定」を入れてください

- ・デートが終わったら

システム→活動情報(申し受け・申し込み)→異性ごとの交際管理から
振り返りを入れてください

- ・3回目のデートが終わったら

システム→活動情報(申し受け・申し込み)→異性ごとの交際管理から
「今後の交際について」の欄に「3回のデートを目的に今後の交際について、
一度カウンセラーに相談しましょう。」があるので「相談する」を押してください。

「今後の交際について」

- ・真剣交際に進みたい
- ・交際を終了しようか迷っている
- ・まだ決められない

と選択肢が出ますので、選んでいただき、理由を入れて送信してください。

振り返りの内容は、下記の項目を載せましょう

1.「行った場所」や「したこと」など

2.「どんな会話をしたか」

3.「次のデートに繋がる会話はできましたか」

4.「他の異性と比較や自分の中での順位」

5.「自身の気持ちの振り返り」

6.「お相手への気持ち」

7.その他、相談したい事や、連絡など

です。

日記の様な感覚で必ず、**当日のうちに記入**しましょう。

ご自身があとで振り返った時の気付きや、書いているうちに自分の中で新たな発見が出てきます。

こちらで振り返りを確認し、内容によってアドバイスや、先方仲人へのサポートを行います。

もし何か迷いや不安など、少しでも気になる事があれば、電話でもいいので、ご相談ください。

早期対応がより良い交際へ進む鍵となります。

初回から数回のデートは、デート専用の記載欄がありますが、数回ほどデートを繰り返すと専用の欄からなくなりますので、普通にシステム内のコメントツールにご記入ください

・注意事項があります。

結婚、婚約又はそれらと同等の成果(「結婚の口約束」「宿泊」「宿泊を伴う旅行」「婚前交渉」「同棲」「交際期間を延長し通算6ヶ月を経過した場合(交際期間は原則3ヶ月)」など)は「成婚」とみなしますのでご注意ください。

また「成婚」における相手とは、当社会員に限らず当社紹介にかかる他社会員等を含むものとします。

・遅刻はどんなに親しくなっても厳禁です。電車遅延や道路の渋滞なども社会人としての自覚や常識を問われてしまう。もしくは、自分と本気で結婚に対して考えていない、向き合っていない。と、捉えられてしまう事もあるからです。

必ず早めに行く様にしましょう。また、その時間も見越した上でのデートスケジュールを立てましょう。

・デート後は必ず毎回、帰宅したら「今日、時間を作って会ってくれた(ご馳走してくれた)お礼」「楽しかった事や感謝している事」「次回デートを楽しみにしている」この3本立てのLINEは送りましょう。

自分は楽しかったと思っていても、案外、その気持ちは相手に伝わっていないものです。

しっかり言語化して相手に伝える事により、相手もそのポジティブな気持ちを受け取り、嬉しく感じます。そして、ポジティブな気持ちで返してくれます。これがお互いの距離を縮める為にも効果的です。(いわゆる心理学という返報性の法則の応用編です)

・歩くスピードや飲み食いするスピード、会話の内容やデートの行き先を自分に合わせてくれる事で「自分に興味を持ってきているか、好意を持ってきているか」というものを推し量ります。もし、分からない場合は直接「大丈夫?」と聞いてOKです。

・背筋はしっかり伸ばしましょう。背中が丸まっていたり、無理なハイヒールで膝が曲がっていたりすると、不格好な上に、実年齢よりも老けて見えます。

・モノを持ったりお相手に渡したりする時の仕草がガサツだと、一気にイメージダウンに繋がります。日頃から指先の動きを意識し、丁寧な仕草を心掛けましょう。

・待ち合わせでは慣れても腕組みをしたり、だらしなく脚を広げたりしない様にしましょう。

・女性の中にはポリシーでメイクをしない方もいますが、他の女性がメイクをしているのに、全く化粧っ気がないのはあっという間に不利になります。メイクは活動の入口に立つための鎧と割り切って、最低限のメイクをされてみてください。

・相手からの質問や会話は、表だけの言葉では真意が伝わらず、お互いに誤解をします。

「~です。」だけでなく「~を大事にしているから」など、考え方の背景を伝えましょう、聞く時も同じで、その言葉の背景や思考をきちんと理解しましょう。

特に金銭感覚に関する話や仕事に関する話は、誰しも結婚を真剣に考えている人は考えます。ですので、シンプルすぎる結論でなく、その背景や理由もきちんと言葉にしましょう。仕事の結果報告を上司にするのと違います。

自分の一番の味方であり、良き理解者になるであろう将来の伴侶に、あなたの事を誤解なく、正しくしっかり理解してもらえる事が大切です。

説明する時も専門用語やカタカナ用語は使わず、誰でも理解できる様な平易な言葉を使いましょう。あなたの中では常識と違っていても、世間ではそう思われていない事も往々にしてあります。

- お見合にしてもデートにしても、異性と会う機会が少ないと、お相手を知る機会も減ってしまいます。

短時間でなるべく沢山お会いすると、次への展開が早いです。

- 会話の中で歩み寄りが出来ると、問題が起きても何でも話し合える雰囲気になります。まずは、ご自身から歩み寄ってみる様にしましょう。

- 同じものを美味しいと感じたり、面白いと感じたりすると、一緒にいることに違和感がなくなります。自分の気持ちを積極的に言葉と態度に出していく様にしましょう。自分は出しているつもりでも、意外と相手には伝わっていないものです。

- 完璧な相手を求めていると迷いがちです。結婚は不完全なものを補い合うものと考え、譲歩の可能性を探しながら踏み出すとうまくいきます。

- 相手の事をもっと知りたい時は、お相手の事を色々と質問してみましょう。その時、あなたが口角を上げて話を聞いていると、お相手は「楽しそうに聞いている」と感じ、それがあなた自身の魅力にも繋がります。

もし、お金のことやご家族の事を聞く時は、身辺調査にならない様、話の流れに合わせて聞くように気を付けましょう。

- 自分の事を知って欲しいときは、自分の事ばかりを話すのではなく、まずはお相手の話を聞きながら、自分の話を聞いている時のお相手の反応を見て、話していきましょう。

また、素のあなた自身を出すことも大切です。例えば、そのまま、ありのままのあなたを見せるのではなく、ご自身の家族の話をしたり、過去のエピソードに自分の気持ちを織り交ぜて話したりすると、自分のことを伝えやすくなります。

ただし、自分の全てを知ってもらおうとするのはNG。

特に、ネガティブな話や自慢話は避けましょう。関係性構築の前に人間性が疑われてしまいます。

- 男性は女性に対して「ホッとできる母性を感じる」と好感を持ちます。

もし、男性がプレッシャーを感じていたり、疲れていたり、弱い部分を見せてくれたら、温かく受け止めてあげましょう。

また、男性は女性に喜んでもらうのが大好きです。「嬉しい」「楽しい」「ありがとう」「また会いたい」といった感情の言葉は素直にお相手に沢山、伝えましょう。また女性を喜ばせたいと思ってくれます。

- 会話はキャッチボールです。念入りに話題の準備をしておく事よりも、相手の反応や表情を見ながら、いい意味での自分の素を出していくことが大切です。

お相手が知らない、あなたの友人の話や、仕事の話、ニッチな趣味の話などを延々とされると「話す相手は自分でなくてもいいのに」という気持ちにさせてしまいます。

うまく話しができなくても、素直に気持ちを伝えられればOKです。

「緊張してうまく話せないですが、またデートしてもらえると嬉しいです」など、お相手と一緒にいるからこそ楽しめる話題がいいでしょう。交際が深まってきたら、お相手の反応を見ながら将来の話をしていきましょう。

- お店に入る時やおしぼりのメニューを店員から受け取る時は、男性は「女性を先」にすると、気遣いのできる男としてアピールすることにも繋がります。

・ボディタッチは誤解の元です。「次回もお会いできるのを楽しみにしています」「一緒にいると安らぎます」など、気持ちは言葉で伝える方がお相手も嬉しく感じます。

もし関係が深まってきたら、セクハラにならないように、まずは肘から指先にとどめて触れましょう。人混みでさり気なく手を添えるくらいが好印象です。

・デートのイメージを固め過ぎて余裕がなくなると、イレギュラーな出来事があったら余裕なく、慌ててしまい、ピリピリした雰囲気になります、プラン通りにスムーズにいかない時は、虚勢でいいので、慌てない様にしましょう。代替案を用意しておくのもあります。

・お酒には要注意です。緊張して飲み過ぎてしまわない様にしましょう。また、食事のマナーや食べ方、店員への態度などもみられています。高価すぎるのもNGです。

旬の料理などを選びながら、季節の話題など共有するとスムーズに進みます。

酔いすぎない様、低アルコールのものを選ぶのも手です。

・デート前日には行き先を決めて連絡しましょう。その中でもデートの前には「楽しみですね」「楽しかったですね」のひと言も忘れずに。またデートは男女関係なく、積極的に誘いましょう。

LINE の活用 (異性との連絡について)

・1日1往復でもいいので、必ず毎日、連絡を取りましょう。

一心理的効果の単純接触回数を増やし、お相手との距離が縮まる上に、相手の気持ちも早くあなたに開き、本音を見せてもらえる様になり、あなたも自分の心を早く開ける様になるため、早くにいい人間関係の構築が可能となり、他のあなたの同性ライバルとの差をつける事に繋がるだけでなく、早い段階で自分自身にとっての幸せになれる相手かの判断をつける事が可能となります。

・マメに連絡を取る。かつ、前向きな気持ちを示すことが真剣交際に繋がりがやすくなります。

真剣交際とは「お互いに相手を一人に絞り、結婚に向けたお付き合い」ということです。

真剣交際になる前は、お互いに複数の異性とお見合をしたり、デートをしていることもあります。

つまり、数多くの出逢いから「あなた」は選び抜かれなければなりません。

真剣交際に進むポイントは、お相手に向けて前向きな気持ちであることを示すことです。

気持ちを言葉で伝えたり、マメにLINEで連絡をするようにしましょう。

「自分に興味がないみたいだ・・・」と思われてしまうと、最後のひとりに選ばれません。

うまく気持ちを伝えられない時は、当カウンセラーに相談しましょう。

・内容は、お互いにポジティブかつ前向きになれる内容を心掛けましょう。

・会話を思い出して、そのキーワードを入れましょう。

「仕事忙しいと言っていたけど、体調は崩してない?」「～～が好きと言っていましたよね。今度、行ってみませんか」など、自分が話した事を覚えていてくれるのは嬉しいものです。

ですので、会話した内容は振り返りや、メモでいいので、連絡ボックスのメッセージにメモ書きとして残しておくといいでしょう。

システムの連絡ボックスツールは単なるカウンセラーとの連絡ツールではありません、異性とのやり取りのメモを残すなど、しっ

かり活用しましょう。

- ・相手が返信しやすいかどうかを意識して送りましょう。イエス・ノーだけで会話が終わるのは寂しいものです。お誘いは「平日と週末ならどちらが都合いいですか?」「和食とイタリアンであれば、どちらがお好きですか?」など、選択肢をあげて送信すれば、相手も返信しやすくスムーズなやり取りになります。

- ・自分の日常報告は不要です。自分の日常報告するだけだと、相手から「何?」と思われて、返事のしようもなく、そのまま終わってしまいます。最後にお相手に質問を投げかけると返事がしやすくなります。

- ・長さはお相手の長さに合わせた長さで返すと、相手は心地よさを感じてくれます。

- ・基本は1LINEにつき、1メッセージです。複数の用件を入れると、返事をする気持ちを失せさせてしまいます。

もし、どうしても複数用件がある場合、端的に箇条書きなどにして、答えやすい様にしましょう。

交際初期は長文でなく短文。そして、短い文章で素気なく感じさせないように、お相手を思いやる気持ちを忘れないようにしましょう。

- ・連続して送ったり、催促するのは恐怖心を煽ります。

既読マークがついたけど、返事がなかなかこない。不安になったとしても、1日は待ちましょう。

その後、また送ってみても返事がない場合はご相談ください。

仕事中や深夜の連投LINEはお相手にストレスを与えてしまうので避けましょう。

- ・自分から送る様にしましょう。ただ、「読んでる?」「変な事を送ってしまったかな」「スタンプのみ」の追いLINEはあなた自身を「かまってちゃん」「ストーカー気質ある」と思わせてしまいますので、送らない様にしましょう。

どうしても返事が数日経過しても来ないで、期日が迫っている場合など、やむを得ない場合においてはシンプルに送りましょう。

- ・返信の頻度と長さは相手と同じペースで返すと、相手はあなたの事を「気が合う、心地よい相手」と思ってくれます。

- ・交際初期は相手のペースがつかみにくいものです。また、返信がないと相手を不安にさせてしまいます。

絶対にしてはいけないのは、あえて返信を遅らせるテクニック。これは時代遅れです。ちゃんと1日1回はLINEしましょう。

- ・難しい話、返事が長くなりそうな話、ネガティブな話、相手への非難や文句などは、LINEしてはいけません。

文章に残るものは、ポジティブな言葉だけしましょう。お相手が後で読み返した時のあなたの印象は一気に下がります。

- ・深夜の長文LINEは避けましょう。朝、お相手が起きてまず見る携帯のメッセージがそれだと、一気にテンションが下がります。

- ・難しい話、長文LINE、苦情、愚痴など少しでもネガティブな内容は相手の顔が見えません。受け取った相手の表情が見えない為、あなたの温度感も伝わらず、お相手の温度感も不明です。

よってあなたの事を「ストーカー気質」「ネガティブ」「面倒な人」など、マイナスイメージにしかありません。

そんな人と幸せな結婚が出来るとは思われず、たちまち結婚対象から外されますので、そういう話については、会った時にタイミングを見て伝えましょう。

また、内容次第では当社が間に入ってお相手の仲人に確認した方が良いケースがあります。そういうネガティブな事など何か気になる事があったら、お相手でなく、まず、当カウンセラーにご相談ください。

・文章だけではキツさを与え、冷たい印象や、相手を誤解させて喧嘩になる事があります。文章を作りながら、その文字だけでお相手がどんな印象を受けるか。お相手の顔を浮かべながら作りましょう。程よくスタンプを入れるのもポイントです。

ファーストコールについて

・交際がお互いOKとなった場合、システムから電話番号の開示がされます。

・開示を受けたら、一両日中に男性から女性に電話をかけます

・男性から電話をかける場合は、ショートメールで

「〇〇です。ファーストコールをしたいのですが、〇〇時頃のご都合はいかがでしょうか」

と送ってから電話すると、とてもスマートな印象を与えるのでおすすめです。

・電話をいただいた時、出られない場合は、気付き次第、すぐ、折り返しの電話をしましょう。

もし、出られない場合はショートメールで「お電話ありがとうございます。出られなくて申し訳ありません。〇〇時頃にこちらからお電話させていただきます」と送ってあげましょう。

・ファーストコールで話すことは以下です

ーお見合いと交際成立のお礼

ー1回目デートのお誘いと約束

ーLINE交換のお誘い(電話を切った後にショートメールでLINEのID交換するのがスマートです)

初回のデートについて

・お見合をした日から1週間以内、もしくはその前後で初回デートの予定を組む様にしてください。

スケジュールが合わない場合は、オンラインデートでも構いませんので、早めに会える様にしましょう。

(出来る限り、ファーストコールの時に初回デート約束をしましょう)

・言葉遣いは、初回デートまでは敬語にしましょう。

初回デート中に「仲良くなりたいので、今後は敬語なしでいいですか?」と切り出すのがおすすめです^^

そうでないと

「この人は敬語が使えない人?自分の家族とか合わせたときにちゃんとできるのかな」

と相手を不安にさせてしまいます。

また、ネット言葉・スラング言葉・「ら」抜き言葉などは、品格を疑われてしまうので使わない様にしましょう。

どうしても、使ってしまう人は4回目以降のデートから少しずつ出していく様にしましょう。

・初回デートはランチデートがおすすめです。

他にもっと気になる人がいて、このお相手がイマイチである場合は、デザートデートでも構いません。

ディナーデートは本気度が上がるのと、アルコールが入ってくるため、気付かないうちに失敗してしまう方も多いので、ディナーデートは可能であれば2回目以降がおすすめです。

・初回のデートは2時間(長くて3時間)くらいが適切です。長くなりすぎると、お互いに気遣いする時間が増え、お互いに心を開く前に疲れてしまいます。

まずは、短時間、かつ会う回数を多くすることを意識しましょう。

短時間の為、あなた自身の良い点を見せる事が出来ます。

まずは、あなたの良い印象を植え付けましょう。また、お互いの自己開示ができるようになるための助走というイメージです。

- 会話の内容は、お見合いの時に聞いた結婚観やお互いの家族、仕事など、少しだけ話を膨らませて聞いてみましょう。

ただし、過去の恋愛も含め、色々と細かい事を聞きたくなるかもしれませんが。

ですが、お見合、初回のデートでそれをガンガン聞いてしまうと相手は

「品定めされている」

と警戒し、心を閉ざしてしまいますので、こみ入った細かい質問はやめましょう。

ただ、相手が色々と聞いてきた場合は同じ様に質問しても構いません。

- お見合、対面 1 回目までのデートの目的は「お互いのフィーリングを見ること」「お相手にとって、あなたといると楽しい、安心できる」と思わせる事です。

まずは、お見合から初回デートは人間関係構築の為と考えましょう。

- 話す言葉のスピードは出来る限り、相手に合わせましょう。人は話すスピードが違うと、違和感や不快感を覚えます。

もし、あなたが相手のスピードが合わず、不快感を強く感じる様でしたら、相性が合わない可能性もあります。

- 早口は「頭の回転がはやい」「せっかち」「気が短い」という印象を与え、逆にゆっくりだと「頭が悪い」「天然」「のんびり」「穏やか」「癒される」と感じる人が多いです。

どちらも過ぎると不快感を与えるので、ご自身の日頃からの速さを意識し、婚活の場でも活かせる様に、普段から気を付けましょう。

婚活の場面では、早口よりも、ゆっくり話す方の方が「居心地よい家庭を一緒に作れる」感じさせる事が出来るので、その方がいいです。

- お金の支払いは、初回デートまでは男性側が負担するのが一般的です。

ですが、女性側は「当然、支払ってもらおう」という態度ではなく、一度は支払う姿を見せましょう。

また、もしくは、プチギフトを用意し、「先日のお見合と、今日、会っていただけたのが嬉しいので、ほんの気持ちです」程度に渡すと良いでしょう。

金額は千円しない程度の簡単なもので構いません。

- 男女関係なく、プチギフトについては、前回までの会話の内容を覚えておいて、その時にお相手が好きだと言っていた食べ物などあれば、ちょっとしたお菓子など、千円以下のものでいいので、そういうものをプレゼントすると

「自分のことを覚えていてくれる。自分のことを考えてくれる」

とお相手を感じて嬉しい気持ちになります。

可能であれば、ちょっとしたお菓子程度でいいので、そういうものをデートの都度

「会ってくれたお礼」

として渡すと相手からの好感度が上がるのでおすすめですよ^^

- 初回デートのお店は、混んでいて並ぶしかなく、二人の空間がしらけてしまったり、ウロウロしてしまう事を避ける為、男性側がお相手の好みをお見合いの間に確認し、予約をしておきましょう。

女性はハイヒールを履く事が多いので、何か特別な理由がない限り、駅からあまり遠くない場所を選びましょう。

女性側は、男性に任せっきりにする事なく、リクエストをしてみるのもおすすめです。

その場合、お店をリクエストするのではなく「ピザが食べたい」「お肉が食べたい」など、大きい枠でのリクエストがおすすめです。

お見合の時に相手の食べ物の好みを聞いているはずですので、そこを意識してリクエストすると良いでしょう。

- ・デート最中、次のデートに繋がる話を必ずしましょう。

「最近、行ってないお店や、行きたいお店はありますか？」

など。

一点、注意すべきは、この初回デートのお店を否定する事は避けましょう。おすすめの言い方は

「今日のこのピザ、とっても美味しかったので、この美味しさと感動がほやけてしまわない様、次は別のジャンルのお店に行ってみませんか？」

など、気遣いはきちんとしましょう。

- ・デートの最中と別れ際には 2 回目以降も全て必ず「今日はありがとうございました。お会いできて嬉しかったし、楽しかったです。また次のデートを出来るのを楽しみにしています」と伝えましょう。

また、帰宅時にも、同様に LINE などメッセージを送りましょう。

- ・過去の恋愛や異性関連の話については、聞いても過去は変わりません。聞く事によって、話すことによって思わぬ誤解が生まれてしまう事もあるので、出来るだけ避けましょう。

2 回目の対面デートについて

- ・週に 1 度はデートをする様にしましょう。忙しくて会えない場合は、オンラインを織り交ぜるのも手です。

その場合は、最初に 2 時間など、ある程度の時間を決めておきましょう。

少し、物足りない。もう少し話したい。くらいに抑えておくのがベストです。

- ・2 回目からはきちんと割り勘にしましょう。

婚活は奢る・奢られて当たり前。婚活は割り勘が当たり前です。結婚後の金銭感覚を見られてしまうので、気を付けましょう。

「結婚を考え、対等なお付き合いをしていきたいので、今回から割り勘にしませんか？」

と最初に話しておきましょう。

- ・2 回目も会う時間は短めが良いでしょう。

イメージは「お見合(1 時間)→1 回目のデート(2 時間)→2 回目のデート(3 時間)」というように、少しずつ一緒に過ごす時間を長くしていくのがおすすめです。

ただ、それまでの間に何度もオンラインデートを重ねていたり、LINE をかなり多くしていたり、電話も頻繁にするなどして、関係性が深まっていれば、その限りではありません。

- ・会話の内容も 1 回目より少し深くしますが、そこまで細かい質問を沢山は行いません。

関係が深くなってきていて、お互いに心を許せていると感じることが出来たら、具体的な結婚観などより深く、色々と聞いても構いません。

イメージとしては、少しだけ踏み込んで、お互いの結婚観などを話して、お互いに考え方をすり合わせていけそうか。お互いがいいと思えそうか。という観点で話しましょう。

- ・2 回目のデートも、必ずデート中に今日のお礼と、次回デートに繋がる様な話をしましょう。

・過去の恋愛や異性関連の話については、聞いても過去は変わりません。聞く事によって、話すことによって思わぬ誤解が生まれてしまう事もあるので、出来るだけ避けましょう。

聞かれても正直に答えていいことはありませんし、過去は変わりません。

「心配ですか？今はあなたとの関係を大切に築いていこうと考えているので、過去ではなく未来のことを話していきたい」という感じに誤魔化していくのがおすすめです。

3回目の対面デートについて

・週に1度はデートをするのは変わりません。忙しくて会えない場合は、オンラインを織り交ぜるのも手です。

・いよいよ、数回会って、お互いに気持ちがりラックスして打ち解けてきている頃です。

今回からは、半日などの長めのデートをしましょう。

おすすめは、(お互い各自で昼食を済ませ、昼過ぎ以降に待ち合わせをし)水族館デートをした後のディナーです。

・ちょっとしたアクティビティ(共通体験)が入るとより、お互いに距離感が縮まって良いです。

・スキンシップ(手を繋ぐ)は3回目からにしましょう。

「手を繋いでいいですか？」

とお相手に確認して、手を繋ぐのがおすすめです。

・将来のことをフランクに話せるようになってくる時期ですので、敬語を使っていた方は、敬語なしで話せる様にしていきましょう。

「良かったらもっと仲良くなりたいので、今後は敬語なしで話しませんか？」など切り出してみましょう。

また、自分から将来の話を持ち出しにくい様でしたら「一般的にはこうらしいのですが、あなたはどう思いますか？」などと聞いてみるのもひとつの方法です。

ただ、一方的に聞くだけでなく、自分の思い描くイメージも伝える事を忘れない様にしましょう。

また、その時の表情もとても大切です。お互いに幸せなイメージを共有できる様に、笑顔で話しましょう。

・会話はそろそろお互いに打ち解けて親近感もわいている頃ですので、突っ込んだ質問をしてOKです

例えば、結婚後はどんな家庭を作っていきたいと感じているか、仕事は今後どうしていきたいか、転職はあるのかなど。

また「お互いにいつまでに結婚をしたいのか」そういう具体的な話を出していくのも良いでしょう。

そうでないと、普通の恋愛みたいに何年も結婚できないまま、ズルズルとなってしまう、意味がありません。

お互いの中で結婚に向けての意識を高めていきましょう。

ただ、相手の意見を聞いて「あ、この人とは合わないかも」と即座に決めつけはいけません。

「なぜ、そういう考えを持っているのか」

こういう本音の部分に耳を傾けて、理解していくことが大切です。

3回目からは、より結婚という時に、一緒に過ごしていけるか。どうやって苦難を乗り越えていくか。二人で一緒に幸せになれるか。

そういうすり合わせが出来る様、少しずつ、表に出ている意見や考えではなく

「なぜ、そう考えているのか」「お互いにどう歩み寄るのか」

そういった理解を少しずつ深めていく時期となります。

- ・相手の意見や考えが自分と違っていた場合、絶対にしてはいけないのは「私は違う」と反論すること。それぞれ、生まれ育った環境が違い、経験も違います。あなたの考えが常識ではありません。その人なりの苦労などがあっての今であり、あなたにない違った角度の広い視野があるかもしれません。「この人は自分と違う考え」ではなく「どうしてこういう思考なのだろうか、自分にとって、この思考は実は抜けている部分なのではないか」など、あなたを成長させる事に繋がるかもしれません。多様な価値観を受け入れる事が出来ること。そして、自分にとっても相手にとっても心地よい空間を作って、共に苦難を乗り越えていけること。こういう事が、幸せな結婚の要素でもあるので、大切に関係を育んでいきましょう。

4 回目以降の対面デートについて

- ・週に1度はデートをするのは変わりません。忙しくて会えない場合は、オンラインを織り交ぜるのも手です。
- ・いよいよ、前回のデートでお互いの結婚したい時期について話が出来、少し深い話も出来ました。今回からは半日のデートや数時間のデートなど、お互いの状況を見ながら、よりお互いの価値観をすり合わせしていく目的のデートをしてみましょう。美味しいもの巡りや趣味のものを一緒にしてみてもいいかもしれません。そして、過去の注意事項は必ず今後も守りましょう。遅刻厳禁、過去の異性関連の話はなるべくしないなどです。
- ・服装も慣れてくる頃です。たまには意外性を出す格好をしても OK です。例えば、女性でいえばスカートだったのをパンツにしてみたり、男性はジャケットを着ないでセーターやシャツだけに見せたり。ただ、TPO に合った大人の服装をしましょう。

真剣交際について

- ・週に1度はデートをするのは変わりません。忙しくて会えない場合は、オンラインを織り交ぜるのも手です。
- ・真剣交際には、交際が始まって2か月で入るようにしましょう。また、そこまで考えられる様な連絡頻度、会話内容、デートの頻度を心がけていきましょう。
- ・お見合をして2~3か月すると、本来であれば、8~12回はデートしています。一般の恋愛での出会いだと、忙しいカップルは月に1~2回デートなので、半年~1年の交際と同じ回数、会っています。ただ、あなたの場合は、最初の時点でプロフィールを見て細かいお相手の仕事や家族環境など色々知っているの、スタートダッシュが恋愛より早く、毎日の連絡もしている事から、アプリや合コンなど、他の方法で知り合って何のフォローなくきた人達と比べると実は短期間で濃密な時間を過ごしています。ですので、2~3か月くらい毎日連絡し、毎週デートしていたら「結婚相手として見られるか」という判断を本来は出来ている事がほとんどです。そうでない場合は、当カウンセラーに相談をして、一緒に思考整理を行きましょう。

・「今月中に婚約してもいい」と思える様になったら、まずは、当カウンセラーに報告しましょう。
相手仲人への気持ちの確認をし、先方も望んでいる様でしたら、次のデートでちゃんと告白しましょう。
真剣交際へと移ります。

・真剣交際へ進むと、それまで他に交際している異性がいても、全て交際終了となります。
交際終了の連絡は、当社から先方仲人へ連絡し、お相手に伝えます。
変にストーカーなどに発展しても、交際終了を伝えて揉めても、あなたが嫌に思いをするだけです。
交際終了については、あなたからは一切、お相手へ連絡をしないようにしましょう。
また、交際終了の連絡をしたら、今後、一切、連絡を取ってはいけません。
それが発覚したら、違反となり、成婚退会になる可能性が高いです。
必ず、交際終了した方のLINE や電話番号はブロック、あるいは削除しましょう。

・真剣交際に進むと、お見合も一切できなくなります。真剣交際へ進んだお相手と二人で、今度は結婚に向けての二人でじっくり
過ごしていく時間となります。
女性はすぐに真剣交際に進んで、男性を独占したい。と考える方が多いのですが、ここはしっかり冷静に。
「この人と婚約を今月中にしていいか」
ここを基準に考えましょう。とはいえ、慎重になりすぎてもだめです。
「とりあえず、結婚に向けて具体的な話をしっかりしてみよう」
という感じで、重くなりすぎずにいきましょう。

・真剣交際に入ったら、具体的な話に入ります。どこに新居を構えるか、お互いの両親への挨拶はどうするかなど。
そういう話をしていくのがおすすめです。

・お互いのご両親に対し「いま、結婚を前提にお付き合いしている方です」ということで「婚約ではなく、真剣に交際している相手」として、ご挨拶に早めにいきましょう。
ご両親などに会って結婚を反対されるケースもあります。
また、ご両親に会うことで、お相手に対して安心することもあります。
ですので、二人が結婚して一緒に未来を歩めるか。そこを知るためにも、早めに会う様にしましょう。

・真剣交際に入ったら、1 ヶ月以内にプロポーズをしましょう。
プロポーズのタイミングは交際相手との状況を当社カウンセラーに伝えていただき、当方からも先方仲人と連携をとって確認してアドバイスをさせていただきますので、随時、報告と相談をください。

・真剣交際もプロポーズもお相手とのあなたのタイミングを合わせる事が大切です。
一方的な勘違いになる事もあるため、ここは先走ることなく、二人三脚でカウンセラーと進みましょう。

プロポーズ～成婚退会について

・プロポーズまでに伝えたい事が言い合える関係か確認しましょう。
無理なく自分の本音を伝えあえるかは非常に重要です。これからは自分たちで乗り越えていかななくてはならない事が出てきます。
何かあった時に、歩み寄っていけるふたりか確認しましょう。

- ・結婚後の生活イメージのすり合わせをしておきましょう。

結婚後はふたりの生活がはじまります。生まれ育った環境が異なるふたりが生活していくにあたり、どのように暮らしていきたいか理想を事前に共有しあうことはとても大切です。

- ・お互いの両親への挨拶もプロポーズ前に済ませておきましょう。

本人同士が良くても、お互いの両親の反対が入り、NGになる事もあるからです。

以前ほどの意識は弱くなりましたが、結婚は家と家の繋がりで、お互いの家族とうまくお付き合いできるか、あらかじめそれぞれの家族に「交際相手」として紹介しておくことをおすすめします。

- ・プロポーズでは、プロポーズリングを用意しましょう。

女性は婚約指輪を本音としてはもらえると嬉しいものです。しかも、プロポーズの時に受け取れると更に嬉しいです。

ですが、デザインは自分で決めたかった。という方が非常に多いため、プロポーズの段階では、プロポーズリングを用意するといいでしょう。詳しくはご相談ください。

- ・無事にプロポーズも済み、完全に婚約となったら成婚退会となります。

- ・お互いの両親への挨拶などを済ませ、あとは入籍日を決めたら、成婚退会の手続きをとりましょう。

退会後もいつでも相談に乗りますので、安心して相談に来てください。

(オマケ)よくある、プロポーズしたい、されたいと思った瞬間

- ・弱っている時に、そばにいてくれて支えてくれた瞬間にぐっときた。

仕事でちょっと凹んでいるときのデート、いつもよりパートナーの優しさを感じた。

ちょっとした変化にも気づいてくれたのが嬉しかった。

- ・将来の話をしている時に、ふたりでいる未来が自然に見えてきた

行きたい場所や将来の夢など、ダイレクトに結婚生活のことではない話をしている時に、共通点がたくさん見えたので結婚を決意した。

- ・何時間一緒にいても会話が途切れなかった

会う回数を重ねても会話が途切れるとがなく、むしろ時間が足りない。

会話のキャッチボールをずっとしていきたい相手だと思った。